

組織運営体制の変更について（4月1日付）

（1）二輪事業 組織運営体制の変更

- ・ 競争力の高いものづくり基盤を構築し、商品力・事業スピードをさらに向上させるため、営業（S）・生産（E）・開発（D）・購買（B）の各部門が自立した運営体制から、新機種の企画構想・開発・生産立上げと量産を一貫して行う体制へ移行します。
具体的には、株式会社本田技術研究所 二輪 R&D センター(以下、二輪 R&D センター)およびホンダエンジニアリング株式会社の二輪開発機能を二輪事業本部に移管します。そして、熊本製作所、生産企画部、および購買企画部内の二輪新機種開発機能と統合して、**ものづくりセンター**を新設します。
- ・ ものづくりセンター内には、商品戦略、生産戦略、部品戦略の立案と推進をはじめ、ものづくり基盤の進化を牽引する組織として、**ものづくり企画・開発部**、**熊本ものづくり企画・開発部**を設置します。
- ・ 二輪車に特化したリサーチ機能(以下、R 機能)を担う、**将来技術開発部**を設置します。
今回、株式会社本田技術研究所内にある全ての R 機能を集約し、新たに設置する**先進技術研究所**と連携しながら、新価値の創造に繋がります。
- ・ 新機種開発を行う組織として、**完成車開発部**、**パワーユニット開発部**、**コンポーネント開発部**、**デザイン開発部**、**商品開発部**を設置します。
- ・ 生産と製造の観点も含めた商品の技術評価、品質管理、開発プロセス改革を行う**技術評価・品質改革部**を設置します。
- ・ 二輪 R&D センター内にある人事総務機能を、二輪事業本部 人材開発部と統合し、新たに**総務人事管理部**とします。
- ・ これらの変更に伴い、熊本製作所内の購買部と品質管理部、および二輪 R&D センターは解消します。

(2) 四輪事業 組織運営体制の変更

- ・ 四輪事業の環境変化への対応スピードを向上させるため、代表取締役副社長が四輪事業本部長を担い、SEDBの各領域を取りまとめ、即断即決できる組織に進化させます。
- ・ 四輪事業本部内には、モビリティサービス事業も含めた四輪事業戦略の責任者として**四輪事業担当**、そして営業領域全体の戦略最適化や各地域本部との連携・整合を行う責任者として**四輪営業担当**を配置します。
- ・ ビジネス開発統括部 モビリティビジネス開発部内にある、新モビリティビジネスを検討する機能を四輪事業本部に移管し、**モビリティサービス事業部**を設置します。
四輪事業本部内のコネクテッド事業企画部は、事業化に向けた機能を強化するとともに、**コネクテッド事業部**に名称を変更します。
- ・ 四輪原価企画部を四輪事業本部に移管し、**原価企画部**に名称を変更します。
- ・ グローバル6極体制における連携をさらに進化させるため、各海外地域本部の地域業務部機能を四輪事業本部に移管し、以下の三部に再編します。
北米地域本部 米州業務部（北米）
欧州地域本部 四輪事業部
中国本部 中国業務部 } 四輪海外業務機能を統合して、
第一営業部とします。
- 北米地域本部 米州業務部（南米）
アジア・大洋州本部 アジア・大洋州業務部
アフリカ・中東統括部 アフリカ・中東事業部 } 四輪海外業務機能を統合して、
第二営業部とします。
- 中国本部 中国業務部
アジア・大洋州本部 アジア・大洋州業務部
その他地域本部 地域業務部 } 四輪事業管理機能を集約し、
業務推進部を新設します。
- ・ これらの変更に伴い、北米地域本部 米州業務部、アジア・大洋州本部 アジア・大洋州業務部、中国本部 中国業務部を解消します。

(3) パワープロダクツ事業および新事業領域 組織運営体制の変更

- ・ 従来のパワープロダクツに加え、「移動」と「暮らし」に新価値を提供していく機能に進化させるため、パワープロダクツ事業本部を**ライフクリエーション事業本部**に名称変更します。
- ・ 事業企画部に株式会社本田技術研究所パワープロダクツ R&D センター内の企画機能の一部を移管して再編し、**戦略企画部**と**商品企画部**を新設します。
- ・ ビジネス開発統括部 エネルギービジネス開発部をライフクリエーション事業本部に移管するとともに、パワープロダクツ事業本部内の事業企画部で行っている歩行アシスト事業と統合して、**新事業推進部**を設置します。

- ・ ビジネス開発戦略部とモビリティビジネス開発部内のロボティクス戦略と事業化機能は、経営企画統括部に移管し、**ビジネス開発部**とします。
- ・ これらの変更に伴い、ビジネス開発統括部を解消します。

(4) 株式会社本田技術研究所 組織運営体制の変更

- ・ 10年先を見据えたモビリティ革新技术と、さらにその先のフロンティア領域における先進技術の創出のため、本田技術研究所の全てのR機能を集約し、**先進技術研究所**を新設します。
- ・ 四輪車のディベロップメント機能を担う組織として、**オートモビルセンター**を設置します。
- ・ 二輪、四輪、ライフクリエーション事業を含め、Honda全体のデジタル技術を活用した新価値創出を実現する組織として、**デジタルソリューションセンター**を新設します。
- ・ 新価値領域を担う研究開発組織 R&D センター X(エックス)とパワープロダクツ R&D センターを統合し、**ライフクリエーションセンター**を新設します。このセンターは、ライフクリエーション事業本部と連携し、二輪車・四輪車以外の商品開発を担い、既存のパワープロダクツの知能化やこれまで R&D センター X で手掛けてきたロボティクス・エネルギーマネジメント領域の商品開発力の強化を図ります。
- ・ 航空機エンジン R&D センターは、**エアロエンジンセンター**に名称変更します。
- ・ 上記の新体制を統括し、研究開発戦略の策定とリソースマネジメントの一元化を図る組織として、**統括機能本部**を新設します。

(5) ブランド・コミュニケーション本部 組織運営体制の変更

- ・ ブランド・コミュニケーション本部内の**渉外部**は、経営の意思をスピーディーかつダイレクトにHondaの取り組みに反映するため、経営直属の組織とします。また、取締役会長と渉外担当役員を配置し、渉外機能のさらなる強化を図ります。

(6) 日本本部 組織運営体制の変更

- ・ 国内の部品事業強化のため、部内の組織・体制を見直し、日本本部 部品部を**部品事業部**に名称変更します。